

授業科目コード	GK-7	授業科目名	ボランティア論			担当教員名	J.A.T.D. にしやんた
科目区分		配当年次	実施学期	単位	曜日・時間	開設学部・学科・専攻	
実務技能科目 学外研修分野		1	後期	2	時間割 参照	人間生活学部	
授業のテーマ・概要							
言葉として使われて久しいが、日本の社会や個人の中で「ボランティア」がどこまで根付いたのだろうか。本講義では、基礎的な知識から国内外の具体的な事例まで広範囲にわたり、ボランティアについて学びます。受講生が主体的に考え、自ら表現・行動できるきっかけづくりになるような講義にしていきたいと考えています。							
授業の目的・到達目標							
ボランティア実践のため、現場に出かけるまでに必要な知識や心構えなどを身につけます。							
授業内容・授業スケジュール							
回数	項目	内容（予復習指示等を含む）				使用資料（プリント等）	
1	ガイダンス	講義の概略と進め方について					
2	ボランティアとは	定義や学問としての歴史などについて					
3	ボランティアと自己	ボランティアは誰のためかについて考える					
4	ボランティアと日本	世界と日本のボランティア文化の比較				必要に応じて	
5	ゲストスピーカー	上級生のボランティアワーキングの報告など				プリント配布する	
6	ゲストスピーカー	外部からボランティア活動家を招聘・話を聞く					
7	ボランティアの事例	インド洋大津波とボランティアについて					
8	ボランティアの事例	在日外国人対象のボランティアについて					
9	現状の改善と提案	日本のボランティア活動の問題と改善に向けて					
10	ゲストスピーカー	外部からボランティア活動家を招聘・話を聞く					
11	ゲストスピーカー	外部からボランティア活動家を招聘・話を聞く					
12	ゲストスピーカー	外部からボランティア活動家を招聘・話を聞く					
13	身近な活動の企画	身近で出来るボランティア活動を企画					
14	身近な活動の実践	身近で出来るボランティア活動の実施					
15	授業総括	全体の理解度の確認と授業総括					
	(試験)						
履修上の注意・関連科目等							
授業への積極的な参加を求める。講義中の私語、携帯電話の使用及び寝るなどの行為は禁止する。発見した場合は退室させ、以降の受講は認めない。遅刻は、出席と認めない。							
試験と評価							
項目	内容等					評価割合	
小テスト	<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し					10 %	
レポート	<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し					40 %	
試験						%	
その他（出席状況等）	出席と積極的な授業参加を重視する。					50 %	
教科書・参考書及び辞典等							
[テキスト] 随時プリント配布 [参考書・その他] なし							
オフィス・アワー ※別紙オフィスアワーの一覧を参照してください。							
研究室の場所・学内電話番号				電子メールのアドレス			